

2023

5

新潟県拠点

情報かわら版



- 県内の耕畜連携の取組のご紹介～稲WCS二毛作、ライ麦に挑戦～ . . . P1
- BUZZMAFF 穂Click!
【農作業中の事故を防ぎたい】～高校生からのお願い～ . . . P2
- 「農村型地域運営組織（農村RMO）形成の手引き」を作成しました . . . P3
- 「NGT48農業プロジェクト」
「ときむすめ」の播種作業が行われました . . . P4

電子版はこちら 



今月の表紙：耕畜連携～牛舎とライ麦畑～（新発田市）

県内の**耕畜連携**の取組のご紹介

～稲WCS二毛作、ライ麦に挑戦～



新発田市で耕畜連携の取組を行う新発田コントラクターさんで、4月24日、ライ麦の収穫が行われました。



新発田コントラクターさんは、耕種農家3戸と酪農家2戸からなり、今年
は稲WCS14ha & 飼料用トウモロコシ7haを手掛けます。このような中で
「稲WCSの収益は業務用米と同じぐらい。二毛作をすることで年間を通して
の飼料の生産、また、収穫期の分散を図りたい。結果収益の増加にも繋がる。」
ということで、「稲WCSとライ麦」の二毛作への挑戦を始めました。
年間を通して農地を有効活用することにより収入の増加を狙います。

収穫したライ麦のお味は？尾田牧場の尾田代表によりますと、「沢山
食べてました、46頭でロール1個(250kg)、1時間でほぼ完食。」との
こと。美味しかったですね。飼料が高騰する中、地元でより多くの
飼料を調達することができます。

稲WCSの二毛作としては、ライ麦
の他、そば（三条市）、カリフラワー（魚沼市）、イタリアンライグ
ラス（村上市）も行われています。



飼料生産に必要な機械導入に対する国の支援事業（飼料生産組織の規模拡大事業）もあり、2次募集が5月1日より始まっています。ご興味のある方は新潟県拠点地方参事官室までお問い合わせください。

事業公募情報は以下のURL又は右のQRコードからも確認できます。

https://www.maff.go.jp/j/supply/hozyo/chikusan/230501_230-1.html



【農作業中の事故を防ぎたい】 ～高校生からのお願い～



新潟県立村上桜ヶ丘高校では、農作業の安全確保と誰もが参加できる農業を目指してGAPの学習に生徒が中心となって取り組んでいます。令和3年には米で、令和4年には米とえだまめでGLOBALG.A.P.認証を取得しました。また、令和4年「農作業安全ポスターデザインコンテスト」では、同校生徒が最高賞の農林水産大臣賞を受賞するなど、全国レベルでの活躍を見せています。

こうした高校生の取組をBUZZMAFF穂Click!で紹介しています。校内での道具や機械の整理整頓などのGAPの取組や、校外での講演の様子を取り上げました。

高校生から農業者の皆様への農作業安全に関するメッセージが詰まっていますので、ぜひご覧ください。

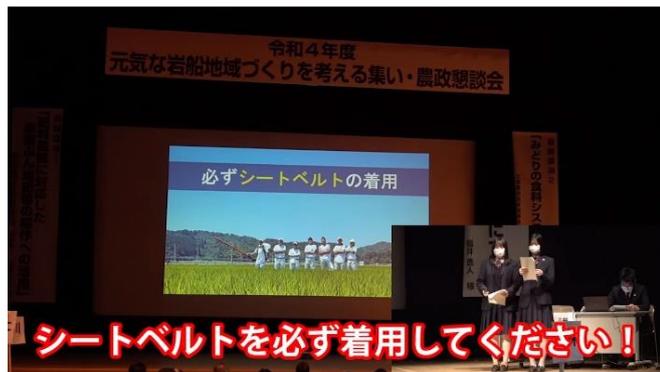


↑ YouTube動画の画像

↓ 村上桜ヶ丘高校の生徒によるGAPの説明



農林水産大臣賞を受賞したポスター ↑



村上市の「元気な岩船地域づくりを考える集い・農政懇談会」での講演の様子 ↑

動画は以下のURL又は右のQRコードからご覧ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=qWI5ddWNTd4>



「農村型地域運営組織（農村RMO） 形成の手引き」を作成しました

近年の農村、特に中山間地域等では、高齢化・人口減少の進行により、農業だけでなく、地域資源（農地・水路等）の保全や生活（買い物・子育て等）などの集落維持に必要な機能が弱体化しています。このため、農家・非農家が一体となり、農業生産、資源管理、生活扶助の3つの集落機能を補完する農村型地域運営組織（農村RMO）による地域コミュニティ機能の維持・強化が求められています。

一方で、地域づくりにあたって、「どのように人や組織を集めればいいのかわからない」「まず、何から始めるべきかがわからない」といったご意見を伺うこともあります。

そこで、北陸農政局では農村RMO形成・運営を担う方々の様々な悩みや疑問の解決の一助となるよう、本手引きを作成しました。地域づくりに携わる皆様に、本手引きを活用いただければ幸いです。

農村地域づくりをはじめよう！

農村型地域運営組織 （農村RMO）形成の手引き



農林水産省 北陸農政局

本書の利用方法

この手引きは、「農村RMOとは」「活動のステップ」「農村地域づくり事例集」「移住者の声」の4部で主に構成されています。農村の地域づくりを担う組織として、「農村RMO（地域運営組織）」が注目されています。

「農村RMOとは」と「活動のステップ」では、農村RMOの概要や、形成のステップ、課題に対する対応などをまとめています。

「農村地域づくり事例集」では、実際に農村地域で地域づくりに取り組んできた北陸管内の5地域の事例を掲載しています。地域づくりを支えてきたキーパーソンへのインタビューをもとに、組織の形成から活動の継続まで順を追って紹介しています。事例集の見方も12ページに掲載していますので、関心のある項目に沿って事例を比べながら調べることもできます。

「移住者の声」では、農村地域に移住して地域づくりに取り組む方の声を紹介し、地域の新たな担い手として、移住者が注目されています。移住者のリアルな声は、地域のこれからの考えるヒントになるかもしれません。

本書は、どこから読んでも構いません。必要に応じて、好きなページからお読みください。



農村地域づくりとは何か知りたい

〈農村地域づくりにこれから関わりたい方、学びたい方〉

まず「農村RMOとは」「活動のステップ～農村RMOの立ち上げ方～」を読んで「農村地域づくり事例集」をお読みいただくと、農村地域づくりのイメージをより具体的に持てるでしょう。



農村地域づくりに取り組みたい、活動を強化したい

〈農村地域づくりに関わっている方〉

「農村地域づくり事例集」では、人や資金などのリアルな課題への対処をまとめています。「活用できる支援制度・お役立ちリンク集」では、農林水産省以外の省庁による支援制度もご紹介しています。



農村地域づくりの仲間を増やしたい

〈農村地域づくりに関わっている方、移住者を呼び込みたい・活用したい方〉

「移住者の声」では、移住して地域に関わっている方のインタビューを紹介しています。移住者を呼び込み、一緒に活動するヒントが得られるでしょう。

詳細は以下のURL又は右のQRコードからご覧ください。
<https://www.maff.go.jp/hokuriku/nouson/230420.html>



「NGT48農業プロジェクト」

「ときむすめ」の播種作業が行われました

4月13日、心地いい春風を感じながらNGT48ブランド米「ときむすめ」づくりの第一歩、播種作業が行われました。この日の参加メンバーは5名。前掛けを泥だらけにしながらかつて越後新鮮組さんの力を借りて苗箱約2,000枚を仕上げました。メンバーからは、「田植えまでの作業が多く手間が必要なことを知った」「この頑張りが美味しいおコメになると思うと楽しみ」、初参加のメンバーも「実際携わったことで勉強になった」との声。秋の収穫まで、できる限り自分たちの力で楽しみながら取り組んでいこうと思えた1日になったようです。



土詰め作業
(三村さん)



播種作業
(左から：大塚さん、藤崎さん、
小越さん)



集合写真
(左から：佐藤さん、藤崎さん、
三村さん、小越さん、大塚さん)

<編集後記>

皆さんこんにちは。新潟県拠点の齊藤です。

今年度からはこれまでの業務に加えて、上越地域の業務も担当することとなりました。4月にも新潟市から何度か出張に行かせていただき、あらためて新潟県の長さを実感しています。4月は妙高山にもまだ雪がかかっており、道中は素敵な景色を楽しむこともできました。これを機会にプライベートでも上越方面へ遊びに行きたいと思います。

今月も最後まで読んでいただきありがとうございました。

お問い合わせ

北陸農政局新潟県拠点では、「現場と農政を結ぶ」業務を通じて、地域の皆様にタイムリーに農政に関する情報をお伝えするとともに、農業現場の抱える課題や農政に対する意見をきめ細かに汲み上げ、各種施策につなげていくこととしています。

地域の農業者（地域の担い手や若手農業者、女性農業者など）の方の集まり等で、「農業施策の〇〇について聞きたい。」といったご要望がございましたら、直接伺ってご説明いたします。

ご遠慮なく、お気軽に下記へご連絡ください。

北陸農政局新潟県拠点地方参事官室

〒951-8035 新潟市中央区船場町2-3435-1

TEL 025-228-5216

ホームページ <https://www.maff.go.jp/hokuriku/nousei/niigata.html>

